

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	56	新宿文化センターの整備					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	02	個性ある地域文化づくり					
施策	01	地域文化活動の活性化					
事業内容							
目的	建物や設備を適切に修繕することで、新宿文化センターを音楽、演劇等を優れた条件で上演できる施設とします。						
対象・手段	新宿文化センターは昭和54年の開館以来27年が経過し、建物や設備の老朽化が進んでいるため、施設を適切な状態に維持するために、計画的に修繕を行います。						
成果(事業が意図する成果)							
新宿文化センターを、新宿区における文化芸術活動の核として活用することにより、区民が様々な文化芸術活動に触れることで、区民生活を豊かなものにできます。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
新宿文化センター大ホールの利用率	新宿文化センター大ホールの利用率 (通年ベース)	(平成19年度)	年度に				
		(95%)	の水準達成				
		()	年度に				
		()	の水準達成				
		()	年度に				
		()	の水準達成				
成果の達成状況							
	単位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備考	
事業成果指標	目標値1	%	0.00	0.00	95.00	95.00	
	実績1	%	0.00	0.00	92.20	87.10	
	= /	%	0.00	0.00	97.05	91.68	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	新宿文化センター外壁調査を、専門の業者に委託して実施しました。						
平成18年度	前年度に実施した調査結果等を基に、効果的な補修工事の実現に向け、関係課と検討を進めました。また、新宿区における文化芸術活動の拠点として、より多くの利用を得られるように、接客設備の改修も行うこととしました。						

部名称		地域文化部			課名称		文化国際課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	0	0	5,460	4,810		
	人件費	千円	0	0	0	0		
	事務費	千円	0	0	0	0		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	0	0	5,460	4,810		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	0	0	5,460	4,810		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	0	5,460	4,810		
	特定財源		0	0	0	0		
	一般財源投入率 /	%	0.00	0.00	100.00	100.00		
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
事業に関する検討課題								
<p>新宿文化センターを魅力ある文化施設として維持できるように、修繕を要する箇所ごとに、効率的効果的な修繕方法を選択する必要があります。</p>								
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	計画どおりに、修繕設計が定められ、19年度から工事を始めることとなりました。					
	効率性	2	今回の大規模改修には休館が必要になりますが、同じく実施に際し休館が必要なアスベスト除去工事、接客設備改修工事を同時に施工することで、休館を有効に活用した効率的な工事とすることができました。					
	実施の成果	2	18年度は計画どおり設計を行ないました。計画どおりに工事を行うことで、近隣の同規模の施設と比較しても、魅力のある施設とすることができます。					
	行政の関与	3	近隣には新宿文化センターと同様なホールがありますが、区民が低廉かつ気軽に利用できる施設は、他にはありません。区が文化芸術の核となる施設を維持することは、区の進める文化の薫るまちづくりを進める上で妥当と言えます。					
	妥当性	3	区内における文化芸術活動の核として新宿文化センターを活用していくためには、大規模改修工事は必要です。					
	施策寄与度	3	新宿文化センターを適切な状態で維持し、区内における文化芸術活動の核として活用することにより、地域文化を活性化することができます。この事業を実施することは、施策目的達成に寄与するものと言えます。					
総合評価	大規模改修、アスベスト除去、接客設備改修の各工事を同時に施工することで、新宿文化センターを今後も魅力ある施設として維持することができます。 また、文化の薫るまちづくりを推進するため、新宿文化センターを区内の文化芸術の核として、活用していくことができます。						B	
							過年度評価	
改革方針	改修工事後の新宿文化センターについては、リニューアルオープン記念公演を実施する等、その魅力を効果的にアピールし、利用率の向上を図っていきます。						17年度 B	
							16年度	
						15年度		
						14年度		
						方向性		
						1		
						現状のまま継続		